風雅類聚 下

へ13
2873
2

2873
2

# 神祇三七

羽咋座

塩川紹喜書 同
津田吳三郎 明治四年

## 上上書

[欠]
[欠]三七位佐毒度小田
佐毒度の二男也佐毒惣別攻
の時神戸郡[illegible]和佐し[illegible]
[illegible]
神戸城を[illegible]
佐毒中出佐[illegible]
[illegible]

せられし所の山岳を
吹上吊橋今我を是れなん
西洋方中所なる山を開拓川
おとなしく之を見るの中間を
作繪に以前の事なれば計略を
以て計畫し作繪と
呼称計畫されしに大事業
相成るの仮仮と作業を
要する物を譲る山橋なるて
是を開る作繪を作れるき新の二方
の作を面白き時なるの二方を投所

せられし所の所利を
面白く又の作と勢をせられしを
以て物し 国 作者の工夫
を以て吊橋今我を作繪し作繪
計れし上者吊橋なれと事業
へ如て出り光と強れしハ
作者の意も有りあつられと
云へ我不業者の作仮を出す
無用物を業を作繪れて
営造量が多れ又山橋を是開
山続き技所を作られしも

行[illegible]
を掛け国の声を上げ[illegible]
行[illegible]
走廻かれ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○津田[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]九 [illegible]行相寺[illegible]為平四
[illegible]寺切[illegible]人
相模[illegible]今[illegible]川[illegible]
[illegible]川[illegible]
[illegible]を[illegible]
[illegible]九江州[illegible]
[illegible]村[illegible]
[illegible]切[illegible]
馬[illegible]切[illegible]
為平四[illegible]村[illegible]
[illegible]為平四[illegible]

[illegible]行利[illegible]
[illegible]
[illegible]切[illegible]
[illegible]行相[illegible]
[illegible]
[illegible]

行者に向ひて毒を計る
術をなすべしいかゝ
まことにあらざるべし因
家内に行相伝来る
ことなく
して後世作りたるべし
後代の狂雑書いかゝ
○行相伝度々来るの
後人の良字をもつて
作のごとくなるべ
いかゝ偽りて
とせざるべし

さるべきこゝろもあるべし
代人の性質をもつて
すゝみ行ふべし
あるべし後世
強物の打たれて
をもつて
後世来るの
実検せんこと
時宜いかゝ
見るべ
へしこれ作りしこゝろ

十六年の春若木迫平敗不
免うしを物作り出れ
て此智をこゝを不浄数
首をれて免許を願ひ
手物あり寒ありて往来
形無しいかに二のあらう
御手嶽の四ありを給へ
所望す

上上　三宅友之丞殿
稲次万次郎日

[illegible]九　三宅氏之御弟子の城を
ちあれ九しふ山伯耆後軍
平井元年之戦御弟子の
城の家来ゝ大ゝを
川清叶ひやせんとす
と三宅さ思ゝいを人一ト
先切ゝ家り出る新城
かゝく再の敵ひを
行要面れ神仏城主を
川清牧ひ見おを計れ
せんゝ家ゝを

先手を廻し候て注進仕候
路高に大勢を引うけ候
くしき軍をせんし
うど大軍を駆引叫す
切後しゆを抜とて
諸勢計り有るべく
御手き仕り
○稲葉屋敷の再度
の御出て天王山を作候
しゆう先手の者共と
ゆうれしかるべく
御り岡の声を聞
先手ゆうれしきゆ
先者ども必後れん方
もうめしんんと
かりを稲葉
あいていぐ味方の弱
引取れと
乙山の作候
子和田計れ加賀の益河
海尾も山の場尾城勢
と山下の軍
和田村山門ぐ

[illegible]

[illegible]

家来[illegible]

[illegible]

[illegible]

切て入[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上品

福原市松　羽柴[illegible]

板山と水　同

[illegible]丸　福原氏[illegible]

桐屋の[illegible]

力量を拔群[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

しかたゝ杜国ハ計れなき
句〻又今ハ其ゝ
杜国ハ長崎ニ番ニ行ル意
ゝ人杜国の事めゝ〻人〻
句〻其外〻ハ句を稲葉茶
切てゝ〻ハしゝ稲葉集
持帝ゝ際ゝ〻ゝ〻ゝ
門紅梅ゝ花ゝ義を生柳ゝ
門ゝしてゝ義ゝ言の葉ゝ
ゝ〻ゝ句を句を清て家ゝ
ゝ句しゝ句義ゝ言ゝ宝撰

の門ゝ義ゝ句ゝ
ゝ人〻の中ゝ
ゝ人ゝ
梅のゝゝ句ゝ
義ゝ句ゝ義ゝ
のゝゝ句ゝ
ゝ切てゝ〻
ゝ句ゝ稲葉集
迄しゝ句ゝ
ゝ〻ゝ〻
ゝ句ゝ

二の名御[illegible]称ゆえ[illegible]
[illegible]
○松山戦[illegible]村等へ綸下
[illegible]
[illegible]
[illegible]

上上

# 服部坂嘉門 羽柴

## 桂市之丞 同

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の四位[illegible]を行てあり
○桂帝[illegible]陽成て移行の原
[illegible]て[illegible]人と[illegible]山の[illegible]
[illegible]しふ杜間[illegible]蝦[illegible]
移行ふ切て[illegible]とて
押落て[illegible]の歌とて[illegible]の
[illegible]移[illegible]
いぶ陽[illegible]
[illegible]桂ぐ[illegible]
力投捨て[illegible]桂[illegible]
[illegible]力[illegible]

[illegible]を[illegible]
かゆ[illegible]すると[illegible]白縄け
て[illegible]の[illegible]を[illegible]
[illegible]て[illegible]
利[illegible]て[illegible]
[illegible]移[illegible]
せし[illegible]
[illegible]

## 主役巻軸

本上上吉　明智長[illegible]

[illegible]丸[illegible]
[illegible]
[illegible]

今世の中能るの癖の中へ
花又作者の心首を自後の
心故の行能後悔りもて
自ら之作をまおすたる命
十四歳の頃の名を絶し
是を作り作者を恨み諸五を
金ゝ讃奉の恨をそらす
とれて世首を之所の
元来に入ものとおもふ
首をもひてそ之敬
ゝ世をん踏ふ

あん堂と見ゝまとんや
命を楚の仏首の新年を
の墓をひじき戸を敬ず
と自延ゝとの法セし
ぶ後果て伍石延法を
の先ふ是ものを絶ふ
又の他を敬ゝも能
行のゝ次を諸敬を
首を書ゝも自ゝん
ゝをあて光義の首を
抑ゝるゝの自ゝんを

出産を済ませ、法華
経を唱ながら行水して
浴すれば、産後の白衣
だけを捧げし者、彼
出産を物忌とし、
経方にて裂しを用ゆ
みてたる物を遠ざ
ものいまだ無しと
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

時の人なれて云ふ事ども
一統のうちなれたる所の
知る所の物を
あやまり知しるべき
山陰の今の物をみるを
先後仕りて之を
物語りを物語
きゝ女を
五月の月の初の
取られて歯をきれる
一しゝ作わるの

扨初の陣ハ
場備をかゝる
初合ハ鉄ハ場
かゝて退
鉄ハ自身
討取敵
せしハ味方
討取しハ
まきうち
一方を切
敵迫揮
書初の陣ハ
鉄ハ海西
ハ切て
出羽の
切ての
をもひ
なるの
鉄ハ
ひとを
くハよ
の後軍

とあらんまゝすた馬物
を無之候しこれ
之ゝ外の物もまた浦物
うれまゝ高物て体を
しまれ候事九十まを
の物にて乗ゝ馬と搭き
情我を知しは馬洲水と流
すゝ手外候しこれ二隻
の仕事洲水を流せしこれ
馬乗にて乗ゝ物を動る事
勢の方へ流し物を出せ候ハ

せ乗ゝ馬ゝの乗ゝ馬ゝ
為ゝ物る者ハ
しゝ彼流ゝ者の鞭ゝ者の
流衝ゝ切腹ゝ付ゝ
勢のゝ流すゝ情切
ゝ二ゝ
歳ゝ評制ゝ
流ゝ馬乗ゝ
時ゝ年ゝ高
ゝ行ゝ初ゝ
切ゝ文ゝ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]年の所業[illegible]
[illegible]
攻[illegible]

[illegible]年 其時義[illegible]時源の
軍[illegible]義[illegible]一時の事[illegible]
和田[illegible]義[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]年[illegible]
[illegible]年の時[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]義[illegible]
[illegible]
[illegible]
攻[illegible]時城[illegible]
の内[illegible]城[illegible]中沼年人[illegible]
切数[illegible]の所[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]義[illegible]
押[illegible]城[illegible]せ[illegible]と
義[illegible]切[illegible]
[illegible]

[illegible]九 [illegible]

作れる老木の清水の
ほとりに新宮の社あり心
のゝ中に山田を作り月
次第に雨ふる年の人の
[illegible]
[illegible]
[illegible]

年貢を納て沙汰を為る
さやうしたる軍勢にて
如様こゝもとこゝもとを
支度利害を解きくたて
沙汰を為て取あひしに仕事
ちかゝりて来て是を取の別
和別の事ゆゑ南北を遣
上洛と聞こし候へ
ゆてゝしく

[京中] 浦井攻之事

去る天正

去る天正廿四の国を荒らす
ゆゑ丹別帝山の砦に入り
遠江の砦攻取日之刻千二百人
砦を攻取十二百人余国の堅を取
十四日正井の砦を九郎〳〵の
事ゆゑ村と和泉守と寄り
面〳〵に八年陣山井と陣山
浜の砦攻の砦〳〵相原面〳〵
こゝの攻取九郎〳〵いとゆ
小田原小仕の人の力合い仕事
大こゝもこゝに於ま〳〵

[京中] 笹山

の城攻の時城内義中民ノ力猶
ヲ切崩シ れ行走しかはせ
薄尾之後並所面しら法師
て知い御ゝ五川原ゝ見しい
さんゝよゝ之御来作光ヲ勢を
と義者の者少命遣ル籠
山中民務中の城面ゝ攻ゝれ
しれ之ゝ為ゝ力を九毎ゝ
攻寄ル中新城を取ゝ
者の下の勢れ仕人の力ひと
いれ及 [19] よいゝん命大之者

でゝ六ゝゝい蔵ゝ力ゝ面ゝひで
ゝ年ゝ寄ゝ年ゝ寄後八ゝの城攻
ゝの外ゝ山ゝ蔵ゝ
ゝ之ゝ者ゝ毎ゝ力ゝ送ゝ海東
ゝ面ゝ義ゝ攻ゝ
中ゝ後ゝ城ゝ波ゝ
義法同ゝ法ゝ義尚ゝ八ゝの
城ゝ初ゝ之ゝ義ゝ攻ゝ
之ゝ力ゝと伝ゝ波ゝ
之ゝ牛ゝ撥ゝ面ゝ下ゝ
信ゝ者ゝ初ゝ伝ゝ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

如ん[illegible]汁ん切後せんとも[illegible]
を村上[illegible]毒所之後ゐ切後
をゝめ詰ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝりの改帯力を[illegible]り[illegible]へ〳〵と
梦ゝ[illegible]後ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
てゐゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
家[illegible]ぶ詰ゝ[illegible]ゝ[illegible]切後せられゝ
御ゝ根ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝてゐいゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
と[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

向後の[illegible]の物ゝ[illegible]他
をゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
り[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
さゐゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

秀吉の説ハ以ての外の
横暴なり本能寺ハ
無之自滅のごとくにて叶ハ
ぬてハ之なし然ハ此時分ハ
ゐ内ハ表と裏とハ
世代ハ平物と為世中ハ乱れ
（内乱）秀吉と家康と
せんとの中時分ハ仕様之
四家の使を秀吉方へ捕
て申時ハ家康ハ
時分ハ秀吉
秀吉を計んとせしも未遂し
さて皆々を計て天下と
なるハ本能寺ハ信長を
是の地位ハ新参を
者共へ切腹を
しい涙石を流
相山城ハ軍
中位を無者
四隣を高し
の足場を
とおんと
秀吉ハ

られしハ之御ものゝ
ものゝ所ゝ〳〵 [illegible]
年候して歌ものゝ
時分ゝ之ものゝ光
寺を建て丹州ゝ坂本
ゝ[illegible]しと申し
十支さゝもとゝ
云ゝ[illegible]
[illegible]
雪ゝ似て[illegible]
られ〳〵ゝとゝ
[illegible]

まゝ[illegible]
まんゝ[illegible]
まゝ[illegible]
[illegible]
ゝ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

の侍をて立ふるの文をかきて
冠を天に投げ七度ふるの八討死
をしたりしかの文をかきて
ふ侍の手にかの文を
ふるの侍ん法師
ふるの侍ん法師
ふるの侍ん法師

相国寺ゟ長門ゟ出ス
也〻山ゟ分ケ〻て並河
海尾喜兵衛井を出れハ
家〻ゟ人ハ〻へき市ゟ行と
兵ゟ人ハ〻と少ゟ行家
相ゟ〻〻れゟて〻ゟ
ゟ歌ゟ之〻れ新と之ゟ
ゟて之戦ゟれゟ同ゟ
相国寺れ時ゟの右伊ゟ
話物を手ゟれ〻れ右同村ゟ
ゟゟ彼軍と〻ゟで

運ゟ運ゟて〻ゟて〻ゟ
運ゟ〻〻ハゟゟ〻ゟ
ゟ〻〻中川ゟ〻ゟ
兵ゟの彼軍ゟ
ゟれ〻ゟ年 元亀 信玄家
信ゟ之年ゟ信玄勝を知と
〻〻ゟと包もゟ吟ゟれ
〻ゟ勝損ゟの伊ゟ之
ゟゟれ彼 元亀 勝と彼ゟ
吟ゟ逆一軍の事ゟ之殺
会と之れゟて伊と之ゟ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

上

正天伯馬守 [illegible]

松田太郎兵衛尉 同

[illegible]

[illegible]

[illegible]

中國より流さるゝ時之秀が
使者を牧りかまりとゝ如て
秀吉之九國〳〵を秀吉國を
遠き唐使を流さるゝ遠江を
以て小秀吉に初めて奇るの
仁義を盡さむ沙屋の下を一刀
さし通れし其代馬より人と
旬日一さんを立り事の細尺
旬れ詫方旬〳〵を引つゝて
深田へ投出れ力量同色
以来〳〵まより唐使者へ

弱り秀吉を不あるれまゝ
さて出家初れさて牧こ宮〳〵之
うち加藤清正を世事りて牛に
紙合を以南方て西方へ
並び紙を清正に紙出並俺
うちんしするを四天時為き
仕なるう首討てよ德川の
和を我者の情ふ人〳〵秀吉
唐使者へ遠へられし遠い所
初ごを宮西さう此事之分為を
一揆之ゝを以て之長者秀吉

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上

# 村上和泉守 源信濃守

[illegible]村上武士丹列形[illegible]の協
[illegible]丹列を列せ[illegible]
[illegible]山より幕下と[illegible]
[illegible]丹波攻[illegible]
[illegible]山陽[illegible]左衛
の籠城[illegible]中川と九人[illegible]
[illegible]山より[illegible]の中
[illegible]九[illegible]年[illegible]

[illegible]
[illegible]年[illegible]
[illegible]九[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上上回　栄西法師

[正九]栄西房と申て栄西法師と行基
菩薩の御生所双の八之相模国の
鎌倉の小栄西法師と行基菩薩と
の生まれ変り給ひし事我一新と
計る相模国の住人千葉小次郎
栄西と申て二人の法師と故
栄西と申て二人の法師と
栄西と申て二人の法師と
栄西と申て二人の法師と

[正九]栄西房と申て栄西法師と行基
菩薩の御生所双の八之相模国の
鎌倉の小栄西法師と行基菩薩と
の生まれ変り給ひし事我一新と
計る相模国の住人千葉小次郎
栄西と申て二人の法師と故
栄西と申て二人の法師と
栄西と申て二人の法師と
栄西と申て二人の法師と

[正九]栄西房と申て栄西法師と行基
菩薩の御生所双の八之相模国の
鎌倉の小栄西法師と行基菩薩と
の生まれ変り給ひし事我一新と
計る相模国の住人千葉小次郎
栄西と申て二人の法師と故
栄西と申て二人の法師と
栄西と申て二人の法師と
栄西と申て二人の法師と

[illegible]
[illegible]
[illegible]

# 親仁役

## 上上　宇野豊後守親仁

[印九] 宇野城を丹州奉行部
郡内の士を以て出
さる付幕下出陣一之たれと
共仕手出る度毎に伺ふ
事多し〳〵はなし之を諸侯の
命を奉し〳〵出之を以て諸侯の
大名共出て答ふるの仁と
ならんか乱世の乱〳〵

今又四民を分離し石を出
を給ふ比宇〻て帰〻之たへし
さるを之事四民を分離
仕従僕迄〻者の給る如
なれとい〻ふ者〻者
と帰る〻〻大名自家臣を以て
四民を新たに〻〻ひ〻〻
し民の〻〻を教〻者出
者又民を豊する国郡と称い
て切と称〻ふ大名出て
事多〻〻〻者の人心

[illegible]

# 花車之部

上上　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

# 若山歌之部

## 本居宣長　細川素行

[illegible]九　細川忠興の歌　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

競五月節揚
上上吉
[illegible]
[illegible]

用意して以ての外の事なり殊に外
出の場合にて有り事柔和の
段なれども婦人の心にて思ひとり
人に内証にて出家致し候に付
しかるべき所に初めて
ふかく付き合の男女行の末
しかるべき所にて
なりて行くべきと思ひ
とかく世間へ対して面目
しかるべきやうに
なりて国者を頼へ
出家

最子行徳と云せう
出家致すべき
とかく切り出し神妙と書き
手紙にて宮
仏偽き文掛合の
と出家致し
清妙達と称し
申人に
対れ
義物一
行幸大
九馬助文書は野田
とのく神

之道又和漢ともに仏教ようやく
行はれしより新義さやうに
しかるに御道中道中の人々切の
切中義理の分別をの好れを
ようやく集めて

# 道外之部

## 上上　胡地人賣長　望蓬

[illegible]九　初平郡[illegible]年[illegible]

之道又和漢ともに仏教ようやく
行はれしより新義さやうに
しかるに御道中道中の人々切の
切中義理の分別をの好れを
ようやく集めて

## 上上　胡地人賣長　望蓬

[illegible]九　初平郡[illegible]年[illegible]

細くこさんの北門ぐちを
出て山ぶきを踏へらされて
おしまるるとおもへば
屋敷の西と二ツ目さし
しらべるとうくるい義な
われて細くこぶしの中義
馬の鼻ちやくふんぢれちゃ
度ぢるくぶを法華よりて
行くしゝ湯ふのあるゆく
文て湯わ入て居られ出
ぶ行ぶとさぐるとうく

髪を刺て坊ちの後ろ
面白く出味なると坊ちゃ
ぶ行ぶ元ぢぶ長屋
しゝ未足ぶ行ぶ
まぬぶ行ぶ
山ぶ行ぶ
上坊ちゃ面ぶ
しゝて大ぶ
山ぶ行ぶ

作

入江七郎

第九　入江我さに別れし事の
発端のつゝき朋友三宅法師
法光山へ獅子狩に出
家し白狐かつこれをとゝ
法師法光白狐をとらんと
する時白狐人をとゝめて言
神慮如何なれとも命のり
ゝ海と命じ給へ
入江の後を追ひ法師を命
歩あるゝも法師聞ひ
さゝかゝ獅子せぬ

見せ給ふ白狐を手負ひ
ゝ白狐を手負ひ
白狐春屋法師を後と命ず
入江の後を追ひ
獅子を忘れ迷ひの法
気を七七又山を
てゝ入江新宮よりとゝ
ゝ狐人のゝ
言気て狐を手こゝ
ゝ石衛門氣と成仕
和ゝ立ち仕ゝ

[illegible]

# 惣巻軸

無類　羽柴秀吉　[illegible]

日本国無双の武勇人臣列
位の官職中村法師より
出れり氏子孫の門より

少勢弱れ下方に立て敵
勢られしゆえ列参川死の
武蔵の所打下かの年長久身
ふと武術とくの四方稽
大力にて文武中村右衛
と見て少年にて川を越
の時打下も今川の新兵と
望められしゆえ右衛門と気
とも打下勢に乗れて
勢伯の力少年の勇名行者
りの者ゆえ行者を実

てりの者ゆえ行者を首を取
初伯ふる者しに打下と行者流
う勢の山伏他打下初ふ
ゆえ打下義もんとを
者を他の物と切落し打下ふ
そを者も天を取打下ぶ
勢を切れしも多
力志にて列と延
打しき小田伯也ものとて
伯也小物山の物也しに時
ゆえ小田原の動し等後

[illegible]少[illegible]を[illegible]
[illegible]高[illegible]
[illegible]山に[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]山にうつる
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]山[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

家を絶て新年の祝うしめ
を引へきと信長の指揮なり
中村を攻来て冬年と文禄年
を経て豊臣の家の係と成書簡数
日攻て屯て信長水を
絶の中後の陣うち絶の条
および信玄手信玄神祭を
上杉謙信敵対うる条を断り
北時を以て上杉謙信敵対
又右衛門信長信勢攻上切り
又信長北朝の条事条と新

小田原北条氏政初山中城の時
主従共に信長を討んとせを
義昭公初北条氏政を和し
江州信長と東攻の時義昭公
の陣と共に信長の家
岩山城を攻落事七日
年と和平山と為して共
信長北朝平時と同じ歌と
信長和一致光秀
時方の陣之と共にうれ
しみて陣とうとも神勢

[illegible]を攻たる
新の江入の時我等小之年
[illegible]
北と線道を[illegible]城中に[illegible]
味方と江入並[illegible]
しかるに[illegible]
の軍既に[illegible]
の城と一揆を[illegible]
和泉列城の町人ら一揆一軍を
企てるとの[illegible]
新しく味方[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

小早川の法法をもつてもつて
[illegible]ひ[illegible]方をもつて和睦と
因幡[illegible]又[illegible]
[illegible]の時法[illegible]
[illegible]
[illegible]

明智ぶかの事を道れ
られしを聞ていわく
主ゝ死落ち入給今我の
行末を何神に祈ん
常盤と濃ゝ殿行方の知れ
ようを死と思ひ同井戸に身投
を聞て近ち寄て
軍配を立て以ての外
を聞て山陰方に我も知あらん
百姓共命知ら知らず
を以て行方尋ゝ仕ま

知ぬ藤ゝ殿や山陰方を
尋ゝ聞て北の色を
田明智方山陰
馬場なれて静ゝ馬の
ゝ殿一所に
へ寄ぬ藤ゝ
を知ゝ仕手
ゝれ
藤ゝ殿や初代の
天王の
ホ

てゝまことに凡人にはたゞ
の形式又かゝる法師にあらぬを
法師の詞をあらしゝ法師にあらら
ものゝ是を聞とてうぢを弁アラ婆を
経ぶるを拙僧も給ることやられ
しゝて切者の業行ふ行者
ゝゝ入うるゝてゝりのあるを是ゝ日
家ゝ者ゝ者ゝ方を計れ法華経
ゝゝゝゝして立ゝ給めさを
主に法ゝ拝ゝ法ゝの修ゝ行
ゝゝを吊今我の大切をゝゝ迦

しゝゝゝゝ